



©中垣ゆたか

読者からのお便り — From Readers

●昔、八木重吉の記念会の時、熊木衛と云う人の作曲した重吉のうたを演奏し、その時知り合ったフルート吹きとその後結婚しました。彼はS43年に亡くなりましたがいつか記念館見学したいです。
(本町田 向山喜美さん)

●今回の記事を読んで初めてゼルビアの試合を観に行ってみました。創設に携わった人の思いがこもったチームはとても盛り上がり上がっていてびっくりしました。これからも時々足を運んでみようと思います。
(本町田 内田文江さん)

●毎号とも色の具合が優しく読みやすくホッとします。近所に「ゆどうふ」のようなどころがある事を知り心強く思いました。
(鶴川 マミさん)

●「まちびと写真館」の関東大震災における町田のようすなどを知り、来ると言われている首都直下や東海地震への心がまえを教えられました。
(成瀬 なつきさん)

●カイルカードさんのごみのポイ捨ての話、とても考えさせられました。川や公園の清掃活動をまちびとでつって、みんなで拾うのをやりませんか？
(原町田 ゆたさとままさん)

●地元愛が「まちびと」をみているとつります。マチダグルメの和・洋菓子の写真がとても美しく感動しました！切り抜いて保存しましたーまちびとスナップをいつも知っている人載ってないかな？！とワクワクしながら見えています。
(木曾東 秋波さん)

●恩田川の桜はどこよりも素晴らしい。目黒川等問題ではないと思う。ライトアップをし、もっと宣伝してもよいのではないか。シバヒロで今年は盆おどりをしてもらいたい。
(中町 舟越交世さん)

編集部より — Editor's Note

まちびとのリニューアルから早いもので1年が経ちました。季節と共に町田を追いかけていると、素晴らしい発見が沢山あります。これからも素敵な情報をお届けしたいと思えます。

また、春号で引用した詩に誤りがありました。心より深くお詫びすると共に、左記のとおり訂正させて頂きます。

「素朴な琴」

この明るさのなかへ
ひとつの素朴な琴をおけば
秋の美しさに耐えかねて
琴はずかに鳴りいだすだろう

出典…小学館「永遠の詩」⑧八木重吉

町田の歴史をたっぷりご紹介！

次号まちびと 2016秋冬号は11月15日発行です

「まちびと」は、市民センターや図書館等の公共施設窓口のほか、市内の郵便局・農協の各支店・病院や美容院・スーパー等、約600箇所に設置しています。また、町田市役所2階、市民協働推進課 おうえん広場内の「NPO・地域活動情報コーナー」では、最新号や在庫のあるバックナンバーもごぞいます(市内での50部以上の設置場所も随時募集しています)。なお、町田市の公式ホームページでもPDF版と電子ブック版をご覧いただくことが出来ます。

<http://www.city.machida.tokyo.jp/community/shimin/katsudou/machibito/>